



- ファンコミュニケーション (野球振興 社会貢献)
- キャッチボールプロジェクト
  - キャッチボールプロジェクトとは
  - キャッチボールしよう選手インタビュー
  - キャッチボールクラシック
    - キャッチボールクラシックとは
    - ルールについて
    - 全国&県別ランキング情報
    - 応募要項&開催情報
  - 活動実績
- ファン必見! 「ファンページ」
- 球界構造改革
- 公認代理人制度
- 書籍・ライセンス商品等
- プロ野球選手会選手名簿
- 日本プロ野球選手会について

PICK UP! 今HOTなJPBPAの活動

### 学生野球資格回復制度

#### 研修会受付

各種変更・お問合せはこちらから

学生野球資格回復認定者の取り扱いについて

### ゆうボール

キャッチボール専用球

2004年球界再編ドラマの記録  
勝者も敗者もなく

PARTNER JPBPAのパートナー様



ご意見・ご要望

このサイトのご利用に際して

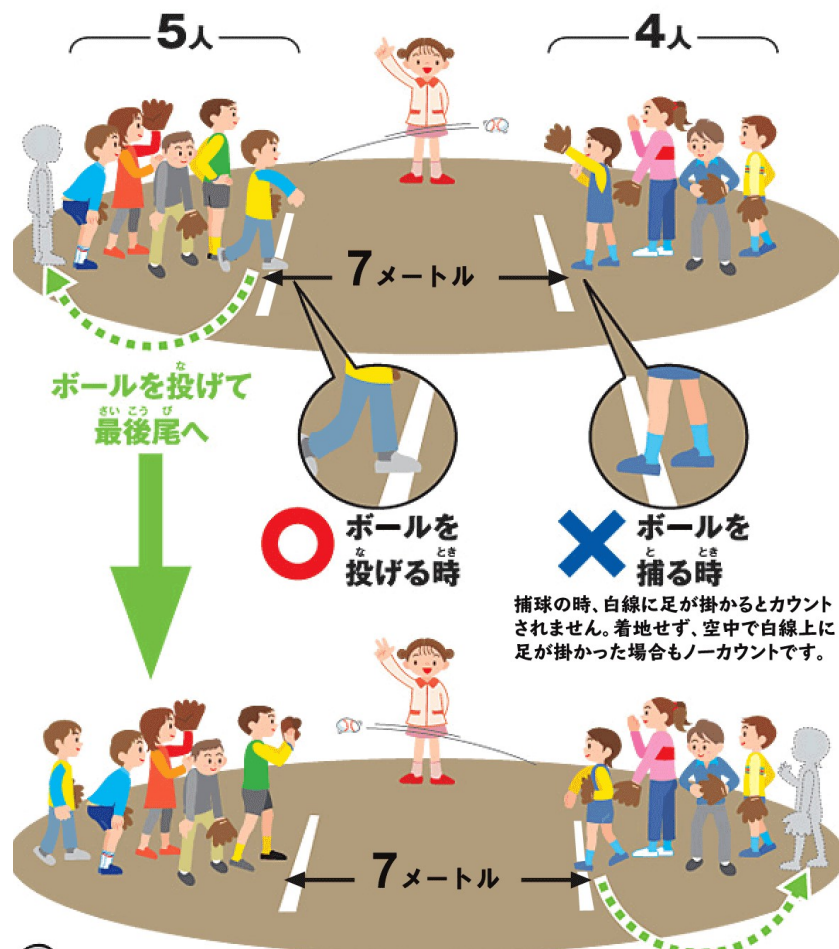
## ルールについて

キャッチボールクラシックのルール説明になります。

### 基本ルール

# ルールを覚えよう

1チーム  
9人だよ



## 制限時間は2分間

日本プロ野球選手会が、キャッチボールの正確さとスピードを競う「キャッチボールクラシック」というゲームを誕生させました。

9人1チームが、2分の間にキャッチボールが何回できたかで勝ち負けが決まります。

ルールは非常に簡単で、手軽に楽しめるゲームに皆さんもチャレンジしましょう。



9人1チームが5人と4人に分かれ、7メートル離れて向き合います。

Rule  
2

5人の側の先頭の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに、向き合った相手にボールを投げます。

Rule  
3

投げ終わった選手は自分の列の最後尾につきます。ボールを捕った選手も、次に向かい合った相手にボールを投げたら、自分の列の最後尾につきます。これを時間内に繰り返します。

Rule  
4

1チームに1人、回数をカウントする審判が必要です。投げたボールを相手がキャッチしたのを1回と数えます。終了時に空中にあるボールはノーカウント。投げる時にラインをはみだすのはOKですが、捕球時にラインより前に出た場合(空中であっても足がラインに掛かっている場合)、カウントされません。

Rule  
5

ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。ただし次の投球は、そのボールを捕る順番だった人から再開しなければ回数はカウントされません。ボールを前に落としてしまった場合は、前に捕りに行って、ラインの後ろまで戻った時点で回数がカウントされます。もし、そのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントされません。

Rule  
6

2分たったところでゲーム終了の合図をします。その時点で空中にあるボールは数に入れません。キャッチボールが成立した回数がチームの記録となります。

実際のプレイ映像でルール確認！

『キャッチボールクラシック』ルール説明映像は下の画像をクリック ↓

キャッチボールクラシックルール説明



[▲ページのトップに戻る](#)

(c) 2010 JPBP All rights reserved.

ホームページ制作、ホームページ作成はコチラ